

令和7年3月27日
厚生労働省政策統括官付参事官付
保健統計室

平成14年患者調査に係る訂正について

標記について、統計表の一部に誤りがあったため、以下の表を訂正しました。
詳細は、次頁以降をご参照ください。

○ 誤りのあった統計表

- ・ 上巻 第46表 推計退院患者数；在院期間－中央値 × 傷病分類 × 病院－一般診療
所別

●上巻 表番号46（1/3）

平成14年 患者調査 平成14年9月

1 上巻第4 6表 推計退院患者数；在院期間－中央値×傷病分類×病院－一般診療所別

注： 在院期間を細分化したものは、閲覧第6 3表。

千人、日

	【誤】 中央値	【正】 中央値
総数		
総数	10	10
I 感染症及び寄生虫症	8	7
腸管感染症（再掲）	5	5
結核（再掲）	60	60
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患（再掲）	7	7
真菌症（再掲）	15	16
II 新生物	13	13
（悪性新生物）（再掲）	19	19
胃の悪性新生物（再掲）	25	25
結腸及び直腸の悪性新生物（再掲）	21	21
気管、気管支及び肺の悪性新生物（再掲）	22	22
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	11	11
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	17	17
甲状腺障害（再掲）	13	13
糖尿病（再掲）	19	19
V 精神及び行動の障害	42	42
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害（再掲）	74	74
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）（再掲）	36	36
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（再掲）	10	10
VI 神経系の疾患	10	10
VII 眼及び付属器の疾患	5	5
白内障（再掲）	4	4
VIII 耳及び乳様突起の疾患	9	9
IX 循環器系の疾患	15	15
高血圧性疾患（再掲）	14	14
（心疾患（高血圧性のものを除く））（再掲）	9	9
虚血性心疾患（再掲）	6	5
脳血管疾患（再掲）	28	28
X 呼吸器系の疾患	8	8
急性上気道感染症（再掲）	5	5
肺炎（再掲）	12	12
急性気管支炎及び急性細気管支炎（再掲）	6	6
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患（再掲）	12	12
喘息（再掲）	5	5
X I 消化器系の疾患	10	10
う蝕（再掲）	4	4
歯肉炎及び歯周疾患（再掲）	5	5
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍（再掲）	13	13
胃炎及び十二指腸炎（再掲）	5	5
肝疾患（再掲）	18	18
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	10	10
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	22	22
炎症性多発性関節障害（再掲）	28	27
関節症（再掲）	39	39
脊柱障害（再掲）	21	21
骨の密度及び構造の障害（再掲）	28	27
X IV 尿路性器系の疾患	8	8
糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全（再掲）	14	14
前立腺肥大（症）（再掲）	9	9
乳房及び女性性器の疾患（再掲）	6	6
X V 妊娠、分娩及び産じょく	6	6
妊娠中毒症（再掲）	9	9
X VI 周産期に発生した病態	6	6
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	8	8
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6	6
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	15	15
骨折（再掲）	26	26
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4	4
歯の補てつ（再掲）	3	2

●上巻 表番号46（2/3）

平成14年 患者調査 平成14年9月

1 上巻第4 6表 推計退院患者数；在院期間－中央値×傷病分類×病院－一般診療所別

注： 在院期間を細分化したものは、閲覧第6 3表。

千人, 日

	【誤】 中央値	【正】 中央値
病院		
総数	10	10
I 感染症及び寄生虫症	8	8
腸管感染症（再掲）	5	5
結核（再掲）	61	60
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患（再掲）	7	7
真菌症（再掲）	16	16
II 新生物	14	14
（悪性新生物）（再掲）	19	19
胃の悪性新生物（再掲）	25	25
結腸及び直腸の悪性新生物（再掲）	22	22
気管、気管支及び肺の悪性新生物（再掲）	22	22
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	12	12
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	17	17
甲状腺障害（再掲）	13	13
糖尿病（再掲）	19	19
V 精神及び行動の障害	44	44
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害（再掲）	75	75
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）（再掲）	39	39
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（再掲）	9	9
VI 神経系の疾患	11	11
VII 眼及び付属器の疾患	7	7
白内障（再掲）	6	6
VIII 耳及び乳様突起の疾患	9	9
IX 循環器系の疾患	15	15
高血圧性疾患（再掲）	13	13
（心疾患（高血圧性のものを除く））（再掲）	9	9
虚血性心疾患（再掲）	5	5
脳血管疾患（再掲）	29	28
X 呼吸器系の疾患	8	8
急性上気道感染症（再掲）	5	5
肺炎（再掲）	12	12
急性気管支炎及び急性細気管支炎（再掲）	6	6
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患（再掲）	13	13
喘息（再掲）	5	5
X I 消化器系の疾患	10	10
う蝕（再掲）	10	10
歯肉炎及び歯周疾患（再掲）	5	5
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍（再掲）	13	13
胃炎及び十二指腸炎（再掲）	5	5
肝疾患（再掲）	18	18
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	10	10
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	22	22
炎症性多発性関節障害（再掲）	26	25
関節症（再掲）	40	40
脊柱障害（再掲）	20	20
骨の密度及び構造の障害（再掲）	25	25
X IV 泌尿器系の疾患	8	8
糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全（再掲）	15	15
前立腺肥大（症）（再掲）	11	11
乳房及び女性性器の疾患（再掲）	6	6
X V 妊娠、分娩及び産後	6	6
妊娠中毒症（再掲）	10	10
X VI 周産期に発生した病態	6	6
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	9	9
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6	6
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	14	14
骨折（再掲）	25	25
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2	2
歯の補てつ（再掲）	2	2

●上巻 表番号46（3/3）

平成14年 患者調査 平成14年9月

1 上巻第4 6表 推計退院患者数；在院期間－中央値×傷病分類×病院－一般診療所別

注： 在院期間を細分化したものは、閲覧第6 3表。

千人、日

	【誤】 中央値	【正】 中央値
一般診療所		
総数	6	6
I 感染症及び寄生虫症	6	6
腸管感染症（再掲）	4	4
結核（再掲）	4	4
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患（再掲）	8	8
真菌症（再掲）	-	-
II 新生物	7	7
（悪性新生物）（再掲）	12	12
胃の悪性新生物（再掲）	20	20
結腸及び直腸の悪性新生物（再掲）	12	4
気管、気管支及び肺の悪性新生物（再掲）	53	53
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	6	6
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	19	19
甲状腺障害（再掲）	3	3
糖尿病（再掲）	22	22
V 精神及び行動の障害	20	20
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害（再掲）	40	40
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）（再掲）	21	21
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（再掲）	27	27
VI 神経系の疾患	1	1
VII 眼及び付属器の疾患	1	1
白内障（再掲）	1	1
VIII 耳及び乳様突起の疾患	7	7
IX 循環器系の疾患	18	18
高血圧性疾患（再掲）	27	27
（心疾患（高血圧性のものを除く））（再掲）	22	21
虚血性心疾患（再掲）	15	13
脳血管疾患（再掲）	21	21
X 呼吸器系の疾患	8	8
急性上気道感染症（再掲）	5	5
肺炎（再掲）	8	9
急性気管支炎及び急性細気管支炎（再掲）	6	6
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患（再掲）	10	10
喘息（再掲）	7	7
X I 消化器系の疾患	10	10
う蝕（再掲）	2	2
歯肉炎及び歯周疾患（再掲）	5	5
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍（再掲）	11	11
胃炎及び十二指腸炎（再掲）	7	7
肝疾患（再掲）	24	24
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	8	8
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	27	27
炎症性多発性関節障害（再掲）	66	66
関節症（再掲）	29	29
脊柱障害（再掲）	27	27
骨の密度及び構造の障害（再掲）	36	30
X IV 尿路性器系の疾患	7	7
糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全（再掲）	9	9
前立腺肥大（症）（再掲）	1	1
乳房及び女性性器の疾患（再掲）	7	7
X V 妊娠、分娩及び産後	6	6
妊娠中毒症（再掲）	9	8
X VI 周産期に発生した病態	6	6
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5	5
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5	5
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	29	29
骨折（再掲）	36	36
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6	6
歯の補てつ（再掲）	-	-